



あけましておめでとうございます

本年がこれからの日本を支える若い人に希望を与えられる年になりますように

色々情報でご存じのように、今の日本を考える際、短期的に活性化しなければ死んでしまう、だから、長期的なことは考えないようにしよう、という思想があらゆるところにあります。下手をすると将来を食いつぶしている可能性があります。

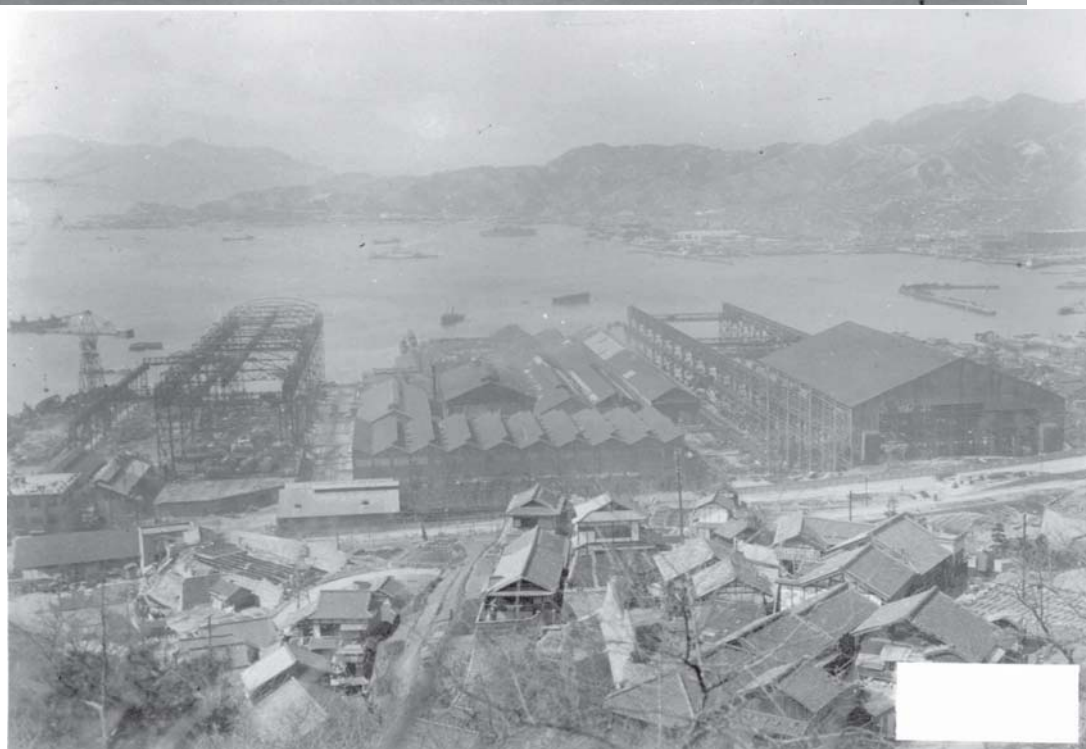
昔は「一生懸命努力し、働けば、明日は必ず今日よりも良くなる」という希望に我々高齢者は生きてきました。今の若い人はそのように信じられないところに今日の根本的な問題があると思われるのです。難しい考察は抜きにして、世界の構造が変わり、その結果として、日本の存在する環境が変わったとき、その環境に適応するには今までの構造の単純延長では無理でしょう。進化論の示す通りです。どうすればよいか考える事、そして戦略が必要です。緊急の事なので、ゆっくり落ち着いて仕事をする必要があります。

本年も宜しくお願い申し上げます。

世話人 久保愛三（昭41卒）

【歴史の勉強】

前の大戦で、アメリカは広島に原爆を落としました。そこからあまり離れていないところに呉軍港があります。この海軍工廠で戦艦大和は作られました。呉は一発の爆撃も受けませんでした。大和を作った屋根付きドックも無傷でした。次の2枚の写真は、日本敗戦後、接收された呉軍港の屋根付きドックを占領米軍が撮った写真です。当時、アメリカは何をどう考えていたのでしょうか。



メガフロートを海洋大国日本の成長戦略の要に

矢野 義昭 (昭和47年卒)

はじめに

日本経済は長期のデフレに苦しんでいるが、その根本的な原因は成長性のある産業分野を見出し得ず、資金はあっても投資先が見つからないことにあると思われる。日本の経済を再生するには新しい成長分野を見出し、そこに重点的に資本と技術を集中投下しなければならない。そのような成長分野のひとつとして海洋産業がある。日本は領海と排他的経済水域(EEZ)を併せると、447万km²に達する世界第6位の面積を持つ海洋大国である。

外務省は今年4月27日、EEZ外でも海底資源の開発権を主張できる大陸棚の拡大が、日本として初めて国連に認められたと発表している。太平洋4海域の計約31万平方キロメートルで、国土面積の約82%に相当する。中国が「岩にすぎない」と指摘していた最南端の沖ノ鳥島(東京都)も認定の基点とされ、国連から「島」とのお墨付きを得たことになる。開発権については、国内手続きの完了、国連への連絡をもって効力が生じる。認定された大陸棚では、レアメタルを多く含む「海底熱水鉱床」や、電子部品に使用されるコバルトを豊富に含む「コバルトリッチクラスト」が発見される可能性が指摘されている(『共同通信』2012年4月27日)。これで、日本が管轄する領海とEEZを含めた総面積は約479万平方キロメートルとなり、カナダの470万平方キロメートルを上回り、世界第5位になる。



「海洋法に関する国際連合条約」第五十六条では、沿岸国の権利として、「海底の上部水域並びに海底及びその下の天然資源の探査、開発、保存及び管理のための主権的権利並びに排他的経済水域における経済的な目的で行われる探査及び開発のためのその他の活動に関する主権的権利」が認められている。また

「人工島、施設及び構築物の設置及び利用、海洋の科学的調査、海洋環境の保護及び保全」に関する管轄権が認められている。しかし、新たに国連から認定された海域も含めた世界第5位の海洋面積を管轄する「主権的権利」を有する日本の海洋大国としての特性は、十分に活かされているとは言い難い。この海洋という広大な空間と未開発の資源を最大限に活かし、日本の新



<http://www.nmri.go.jp/ocn/megafloat/img/airportmodel.jpg>

たな成長戦略の中核産業とするための有力な巨大プロジェクトとして、メガフロート(超大型浮体構造物)の利用を提案したい。

1. メガフロートの効用とそのイメージ

メガフロートとは、一般的なマリンスフロート(浮体構造物)の中でも超大型のものを指し、洋上に新たな多目的空間を生み出すことができる。他方現在では、世界的な人口の増大と都市化が進行するなか、特に都市が海岸部に集中しているため、都市の居住空間が制約を受け、世界的にスラム化、環境の汚染、津波などの災害に対する脆弱化などの問題を生じている。メガフロートは、海上に安全で住みよい新しい居住空間を創出して、このような狭隘化した都市が生み出す様々の問題を解決することができる、新次元のインフラストラクチャーとしての可能性も秘めている。

浮体構造物の事例としては、メガフロート技術研究組合が平成11年に横須賀沖合に設置した浮体空港実証試験用の空港モデル(長さ1,000m、幅60~121m、面積84,000m²、鋼材重量37,000t)がある。この空港モデルにより、2,000m級の空港の開港テストおよびDHC-8その他の小型航空機による離着陸実験が行われ、浮体式空港は技術的に十分対応可能であると評価された。また浮いていることにより、地震、地盤の支持力、陸域の災害の影響を受けない。

メガフロートは、多目的な超巨大浮体構造物とはいえ、単一のメガフロートを日本の沿岸に浮かべるといった規模では成長戦略にはつながらない。ここ

で提案するのは、海洋大国としての発展戦略、海洋開発の拠点として、移動可能なメガフロートを、日本の沿岸と離島近海に多数建設するという巨大プロジェクトである。その場合のメガフロートは、沿岸では原発の設置、外洋では離島の防衛警備、海洋資源の開発・積み出し拠点として主に利用される。しかしそれ以外にも、ごみ処理場・備蓄タンクなどの設置、新エネルギーの実験基地、養殖場、海洋バイオ資源の研究開発拠点、観光地、居住地など多目的に活用できる。さらに、メガフロートは将来的には海上都市に発展させる礎ともなる可能性を秘めている。

本論では、日本の沿岸に設置し原発用その他多目的に利用する沿岸型と、海洋資源の開発拠点など多目的に使用する外洋型の2種類を提案したい。

(つづく)

—— 京機短信への寄稿、 宜しくお願い申し上げます ——

また、原稿が切れてきました。投稿、お願い致します。

【要領】

宛先は京機会の e-mail : jimukyoku@keikikai.jp です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。 割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。 宜しくお願い致します。

平成25年度 関西支部総会・新年会のご案内

恒例の新年会を下記のとおり開催致します。会員ご本人のみならず、会員ご家族様にも参加しやすい会としたいと考えておりますので、奮ってご参加頂きます様、お願い致します。

日 時 平成25年1月19日(土) 15:00-19:45
会 場 ホテルグランヴィア大阪 大阪市北区梅田3丁目1番1号

第二世紀事業会リカレント講演会 15:00～17:00 20F 名庭(なにわ)の間
ふく射伝熱の基礎 と 熱ふく射物性・熱ふく射計測・熱ふく射工学・生活
環境における熱ふく射制御の考え方

講 師：牧野俊郎 教授(京都大学大学院工学研究科 機械理工学専攻)

総 会：17:00～17:30(20F 名庭(なにわ)の間)

新年会：17:45～19:45(20F 鳳凰の間)

参加費用 平成14年以前学部卒業の会員 10,000円
平成15年以降学部卒業の会員 5,000円
学生・大学院生 3,000円
会員ご家族、平成24年4月新入社員の会員 無料

平成25年度 関東支部総会・新年会のご案内

恒例の新年会を下記のとおり開催致します。会員ご本人のみならず、会員ご家族様にも参加しやすい会としたいと考えておりますので、奮ってご参加頂きます様、お願い致します。

日 時 平成25年1月26日(土)
会 場 日立金属 高輪和彊館 大会議室 東京都港区高輪4-10-56

第二世紀事業会リカレント講演会 13:00～15:00

機械のための制御理論最前線 非線形・確率・学習

講 師：藤本 健治 教授(京都大学大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻)

本講演では、機械系のための最新の制御技術を紹介する。通常のフィードバック制御の基礎から、非線形性を取り扱うための非線形制御、製品のばらつきや環境のゆらぎなど統計的データを扱うための確率制御、未知の対象や環境を推定するための学習制御など、最新のテーマを扱う。

総 会 : 15 : 15 ~ 16 : 15

講演 16 : 15 ~ 17 : 15

テーマ : 「仮題 : 日本の電機産業の生きる道」

講 師 : 山西健一郎氏 (S50) 三菱電機株式会社 社長

写真撮影 17 : 15 ~ 17 : 30

懇親会 17 : 30 ~ 19 : 30

参加費用 平成8年以前学部卒業の会員 8,000円

平成9年以降学部卒業の会員 5,000円

学生・大学院生 3,000円

会員ご家族 無料

申し込み 締切 平成25年1月9日

野次馬話 第62話 「元美人アナ・・・」

S43卒 遠藤 照男

新聞紙面下段の週刊誌の広告にあったタイトルだが、「元」をどの言葉に掛ければいいのか判らない。この世界に疎いため、女子アナ諸嬢（諸氏？）の名前は殆ど存じ上げず、渦中の人が、「昔は美しかった人が時を経た今もアナウンサーをお勤め」なのか、「現在はリタイアしている美しいアナウンサー」なのかが判断出来ない。

本文を読めば、写真と、場合によっては年齢も載っているかも知れないが、他のタイトルを見て買うほどの週刊誌ではなさそうなので、状況は結局判らず終いである。

ところで、<「元」「Eカップ」「美人」「モデル」の「夫」が・・・>としたら、どう解釈するか？

「元」がどこに掛かるかによって、

- ・ 「元」「Eカップ」 注入物が吸収されてしまってBカップに収縮
- ・ 「元」「美人」 寄る年波には抗えず、塗り壁化粧
- ・ 「元」「モデル」 割り増し座席料金を請求される体型
- ・ 「元」「夫」 そんな妻にさえ捨てられた、一番惨めな存在

1 . 2013 年日本経済の展望

三菱東京UFJ銀行

http://www.bk.mufg.jp/report/ecownew/review_0120121225.pdf

2 . 2013 年海外経済の展望

三菱東京UFJ銀行

http://www.bk.mufg.jp/report/ecownew/review_0220121225.pdf

3 . 三菱総合研究所 マンスリーレビュー 2013 年 1 月号

http://www.mri.co.jp/NEWS/mreview/_icsFiles/afieldfile/2012/12/25/mr201301.pdf

巻頭言

QOL を高めるイノベーション

特集

新年の内外経済を展望する

トピックス

- (1) 人の移動を支援し新たな価値を生み出すスマートフォン
- (2) ライフコース視点を取り入れた女性市場戦略
- (3) G20 に期待される本来の機能 指標でみる

内外経済

- (1) 生活実感でのデフレの評価は二分
- (2) 米国住宅市場の潮目が変わっている

4 . 日本経済 2012 - 2013 - 厳しい調整の中で活路を求める日本企業 -
平成 24 年 12 月内閣府政策統括官室（経済財政分析担当）

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/keizai2012-2013pdf.html>

はじめに <http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12hajime.pdf>

目次 <http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12mokuji.pdf>

第 1 章 弱い動きとなった日本経済

第 1 節 景気局面の現状

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12-1-1.pdf>

第 2 節 東日本大震災からの復旧・復興の現状と課題

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12-1-2.pdf>

第 3 節 各種政策の効果と新たな経済対策

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12-1-3.pdf>

第 2 章 最近の物価動向を巡る論点

第 1 節 デフレの現状評価：緩やかなデフレの持続

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12-2-1.pdf>

第2節 GDPデフレーターと交換条件

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12-2-2.pdf>

第3節 雇用・賃金の動向と物価

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12-2-3.pdf>

第3章 生産の海外シフトと雇用

第1節 海外生産移転の進展

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12-3-1.pdf>

第2節 企業の海外生産移転の背景

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12-3-2.pdf>

第3節 産業構造や雇用・賃金構造に与える影響

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12-3-3.pdf>

むすび

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12musubi.pdf>

付図・付表・付注

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12fuzu.pdf>

参考文献

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12sannkou.pdf>

長期経済統計

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2012/1222nk/pdf/12toukei.pdf>

5. 景気後退？ いえ既に回復が始まっています

キーパーソンに聞く

日経ビジネスonline

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/interview/20121219/241282/?P=1>

景気は今春から後退局面に入ったと言われている。26日にも発足する安倍晋三政権は景気テコ入れのために大規模な補正予算案を編成し、日銀にも大胆な金融緩和を迫る方針だ。景気循環論の第一人者である嶋中雄二・三菱UFJモルガン・スタンレー証券景気循環研究所長に現状と先行きを分析してもらった

6.3 か月後は上向き、期待度1位は輸送用機器

東洋経済online

『会社四季報』有力エコノミスト景気調査

<http://toyokeizai.net/articles/-/12255>

2012年11月時点の「景況感」は東日本大震災直後以来の低い水準だった。総選挙で選ばれた新政権へは、経済政策のありかたなど注文が多数ある。いま「期待できる業種」の筆頭格は「輸送用機器」や「医薬品」などで、「期待できない業種」としては原発問題を抱える「電気・ガス業」が挙げられた

。東洋経済新報社が有力エコノミストを対象に12年11月時点として初めて「景気四季報」調査を実施したところ、上記のようなことがわかった。

7. アナリストの忙中閑話

SMBC 日興証券

2013年の干支は「癸巳」。日本経済の再生なるか

<http://www.smbcnikko.co.jp/column/analyst/023.html>

2013年（平成25年）の干支は、「癸巳（みずのと・み、キ・シ）」

「癸巳」は、「干支」の組み合わせの第30番目で、陰陽五行では、十干の「癸」は「水」の「弟（陰）」、十二支の「巳」は、「火」の「陰」で、「相剋（水剋火：「水は火を消し止める。」の意）」である。

「癸」は、「測る」、「図る」に通ずる

「癸」は十干の最後の干で、「癸」の古代文字は、「矛」ないし「矢尻」が四方に突き出たような形をしている。水が四方より流入する形の象形との説もある。季節は晩冬を表し、草木も枯れて、測量に便利であることから、物事を「揆（はか）る」、「測る」に通ずる。また、「図る」、「計る」と物事の筋道を立てると言う意味があり、「均」に繋がる。また、首癸＝首揆は、宰相の位を表す。万時、筋道を立てて処理すれば、国家を繁栄に導くことができるという意味を表すが、方針が曖昧だと、混乱し、「一揆」が起きることもある。

8. 野村総合研究所 未来年表 2013-2060

<http://www.nri.co.jp/publicity/2010/nenpyou.html>

NRI 未来年表は、今後予定されている出来事を「政治・社会」「経済・産業」「国際」の軸で整理し、さらに、NRI が書籍やセミナーなどで発表している様々な予測を「NRI 予測」として掲載している年表です。将来の社会の大きな動きが一覧できます。年表には、2013年～2060年までの未来予測を盛り込んでいます。今年も、付録として1945年から2012年までの「過去年表」を作成しましたので、ご活用ください。「過去年表」は、「未来年表」と同じPDFファイルの3枚目になります。

http://www.nri.co.jp/publicity/2010/pdf/nenpyo_2013.pdf

9. 経済予測の賢い使い方

ニッセイ基礎研究所

http://www.nli-research.co.jp/report/nlri_report/2012/report121226.html

(本文) http://www.nli-research.co.jp/report/nlri_report/2012/report121226.pdf

見出し

- 1 2013年度経済見通しの特徴
- 2 コンセンサス予測の精度
- 3 個別機関の予測精度
- 4 まとめ

introduction

年末から年明けにかけて、新聞、雑誌などでは翌年度の経済予測が取り上

げられる機会が多くなるが、実績値が予測値からどれだけ乖離したかについて検証されることは意外に少ない。本稿では、実質GDP成長率の予測精度について検証を行った。1980年度から2011年度までの32年間における予測値（各予測機関の平均値＝コンセンサス）と実績値との乖離は平均1.4%（平均絶対誤差）で、32回のうち18回は実績値が予測値のレンジ（予測機関の最大値～最小値）からも外れている。

景気循環と予測誤差の関係をみると、景気回復局面では実績値が予測値から上振れ、景気後退局面では実績値が予測値から下振れる傾向がある。景気回復期の上振れ幅は平均0.8%、景気後退期の下振れ幅は平均1.7%である。

個別機関の予測誤差をコンセンサス予測の誤差と比較すると、2000～2011年度の12年間でコンセンサス予測よりも誤差が小さかったのは23機関中7機関と全体の3分の1以下にとどまった。これは、コンセンサス予測の誤差は個別機関のプラスの誤差とマイナスの誤差が打ち消されることにより絶対値が小さくなるためである。

経済予測の利用者は、個別機関の予測の優劣に関して情報がない場合には、相対的に優秀なパフォーマンスを示すコンセンサス予測を利用したほうが無難である。ただ、予測値が外れる方向と景気循環の間には一定の法則があるため、景気循環に応じて予測を使い分けることは有効と思われる。すなわち、景気が回復すると考えられる場合には強気派の予測、景気が後退すると考えられる場合には弱気派の予測を採用すればより良いパフォーマンスを得ることが期待される。また、たとえば過去数年間の個別機関のパフォーマンスを知ることができる場合には、相対的に優秀な機関の予測値を組み合わせることでより精度の高い予測値を利用することが可能となる。経済予測をうまく活用するためのひとつのヒントと言えるだろう。